

RYOBI

リョービ株式会社

2021年12月期 第2四半期 決算説明会資料

(証券アナリスト、機関投資家向け)

2021年8月6日



目次

1. 2021年12月期第2四半期 決算実績	P. 3
2. 2021年12月期 業績予想	P. 10
3. 事業別状況	P. 16
4. 株主還元	P. 34
5. SDGsへの取組み	P. 36

1. 2021年12月期第2四半期 決算実績

1. 2021年12月期第2四半期決算実績

決算のポイント

➤ 連結業績 増収・増益 （対前年同期比）

（ダイカスト）

- ・ 国内・海外ともに増収 世界的な半導体不足による自動車生産への影響はあったものの、景況感回復に伴う自動車販売の回復や原料（アルミ）価格の上昇に伴い、全ての地域において増収
- ・ 利益は原料価格上昇が続いており、販売価格への転嫁が後追いとなるため、黒字化には至らず

（住建機器）

- ・ 国内・海外ともに減収 利益は人民元高による調達コスト上昇で減益

（印刷機器）

- ・ 前年同期比増収 国内は減収だが、海外は中国、韓国向け輸出が堅調に推移
- ・ 利益は国内減収影響を原価低減や生産性向上等では補いきれず減益

➤ 2021年12月期予想

- ・ 原料価格の上昇傾向が第3四半期以降も続くと見込む
- ・ 当初予想（2/12発表）比で増収減益

実績サマリー

1. 2021年12月期第2四半期決算実績

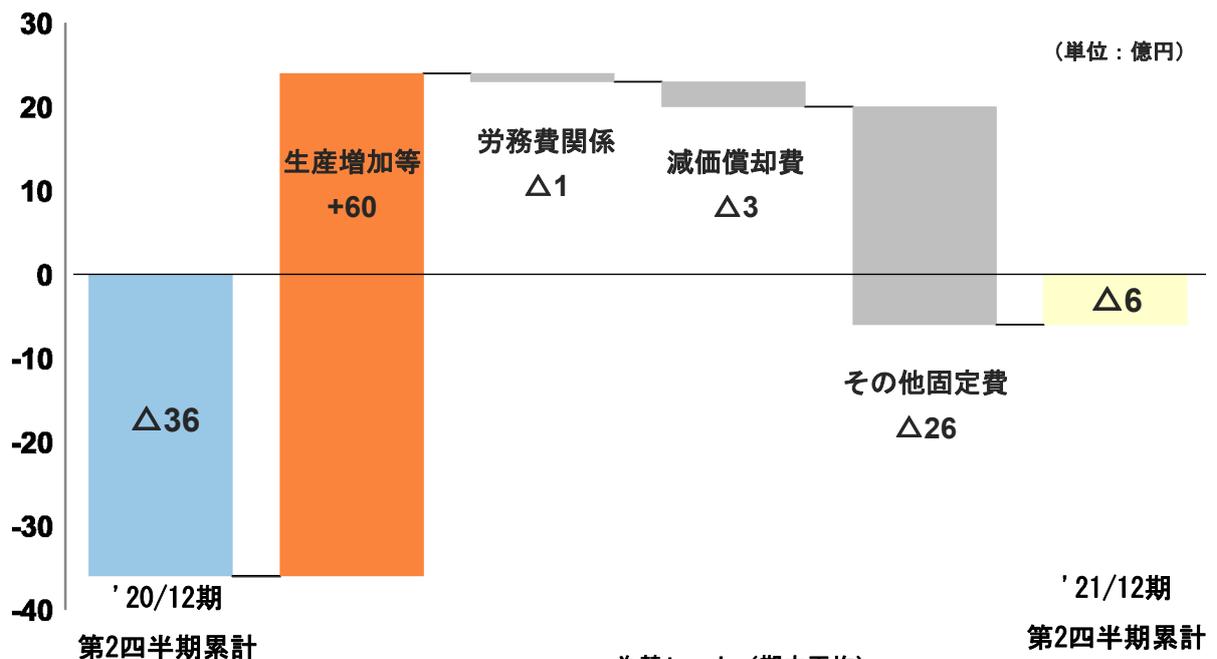
(単位：億円)

	'20/12期 第2四半期累計	'21/12期 第2四半期累計			
	実績	実績	前期差 (前期比)	当初予想 (2/12発表)	当初予想差 (当初予想比)
売上高	777	956	179 (23.0%)	935	21 (2.2%)
営業利益	△36	△6	29 (-)	5	△11 (-)
経常利益	△28	1	29 (-)	5	△4 (△79.8%)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	△17	2	19 (-)	3	△1 (△24.8%)

5/41

営業利益増減要因

1. 2021年12月期第2四半期決算実績



その他固定費の主な内訳

水道光熱費	△6億円
消耗品費	△5億円
修繕費	△2億円

為替レート (期中平均)

	'20/12期 第2四半期	'21/12期 第2四半期
米ドル	107.82円	107.31円
英ポンド	137.36円	149.00円
中国元	15.31円	16.58円
タイバーツ	3.41円	3.50円

6/41

セグメント別実績

(単位：億円)

	'20/12期 第2四半期累計		'21/12期 第2四半期累計		
	実績	実績	前期差 (前期比)	当初予想 (2/12公表)	当初予想差 (当初予想比)
売上高	777	956	179 (23.0%)	935	21 (2.2%)
ダイカスト	646	821	175 (27.1%)	810	11 (1.4%)
住建機器	47	45	△2 (△3.3%)	45	0 (0.4%)
印刷機器	83	88	5 (6.2%)	80	8 (10.2%)
営業利益	△36	△6	29 (-)	5	△11 (-)
ダイカスト	△35	△4	31 (-)	10	△14 (-)
住建機器	4	2	△1 (△37.2%)	2	0 (16.9%)
印刷機器	△4	△5	△1 (-)	△7	2 (-)

7/41

貸借対照表

(単位：億円)

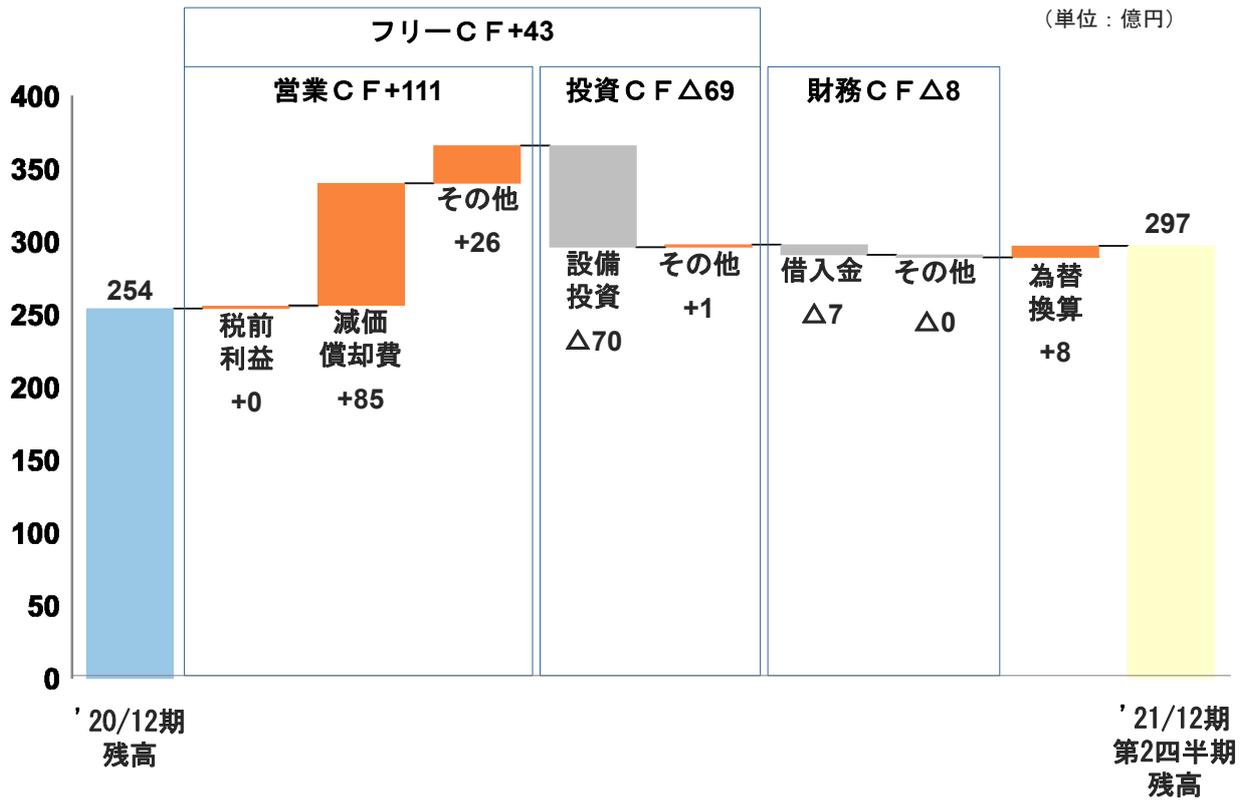
	'20/12期	'21/12期 第2四半期	増減	うち 為替影響		'20/12期	'21/12期 第2四半期	増減	うち 為替影響
流動資産	1,122	1,207	85	29	流動負債	839	990	152	22
現預金	266	309	43	7	仕入債務	291	340	49	4
売上債権	402	385	△17	7	短期借入金	373	481	108	13
有価証券	8	8	0	0	その他	175	169	△5	5
棚卸資産	414	468	54	13	固定負債	488	391	△98	6
その他	33	38	5	2	長期借入金 (社債含む)	352	254	△98	4
固定資産	1,464	1,493	29	48	その他	137	136	△0	2
有形固定資産	1,190	1,202	12	43	株主資本	1,163	1,165	2	△0
無形固定資産	35	34	△1	4	その他の包括 利益累計額	9	67	58	49
投資その他の 資産	240	258	18	1	非支配株主持分	88	87	△0	-
繰延資産	0	0	△0	-	純資産合計	1,259	1,320	60	49
資産合計	2,587	2,701	114	77	負債・純資産 合計	2,587	2,701	114	77

- 為替影響により総資産は77億円増加 前期末日休日影響により22億円減少
- 有利子負債(含む社債)は為替影響を除いた実質では7億円の減少
- 純資産は、為替影響を除き11億円増加

為替レート(期末日)	米ドル	英ポンド	中国元	タイバーツ
'20/12期	103.50円	139.82円	15.88円	3.44円
'21/12期第2四半期	110.58円	153.16円	17.11円	3.44円

8/41

キャッシュフロー増減



2. 2021年12月期 業績予想

業績予想

2. 2021年12月期 業績予想

(単位：億円)

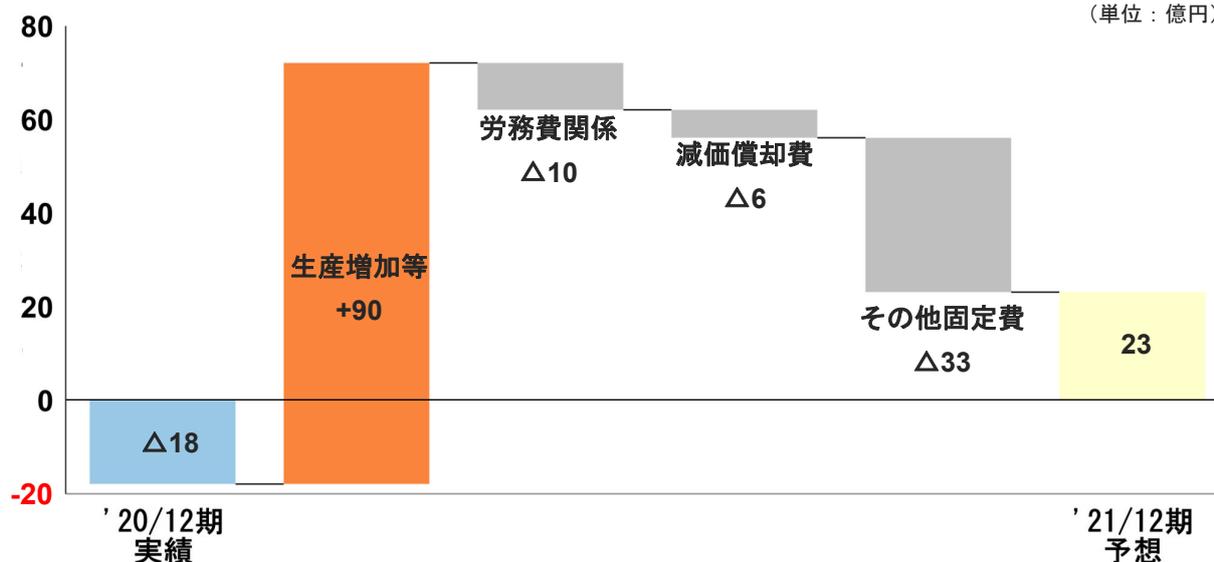
	' 20/12期	' 21/12期	
	実績	予想 (7/16発表)	前期差 (前期比)
売上高	1,710	2,110	400 (23.4%)
営業利益	△18	23	41 (-)
経常利益	△0	30	30 (-)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△7	22	29 (-)

11/41

営業利益予想増減要因

2. 2021年12月期 業績予想

(単位：億円)



- 国内外増収効果による増益
- 生産増加に伴い主に海外拠点で労務費や固定費が増加
- 設備投資に伴う減価償却費の増加

為替レート

	' 20/12期 (期中平均)	' 21/12期 (予想)
米ドル	106.80円	105円
英ポンド	137.43円	150円
中国元	15.40円	16.5円
タイバーツ	3.41円	3.4円

為替が1%円高に変動した場合の年間営業利益への影響額

米ドル △50百万円
英ポンド △10百万円
中国元 △10百万円

12/41

セグメント別業績予想

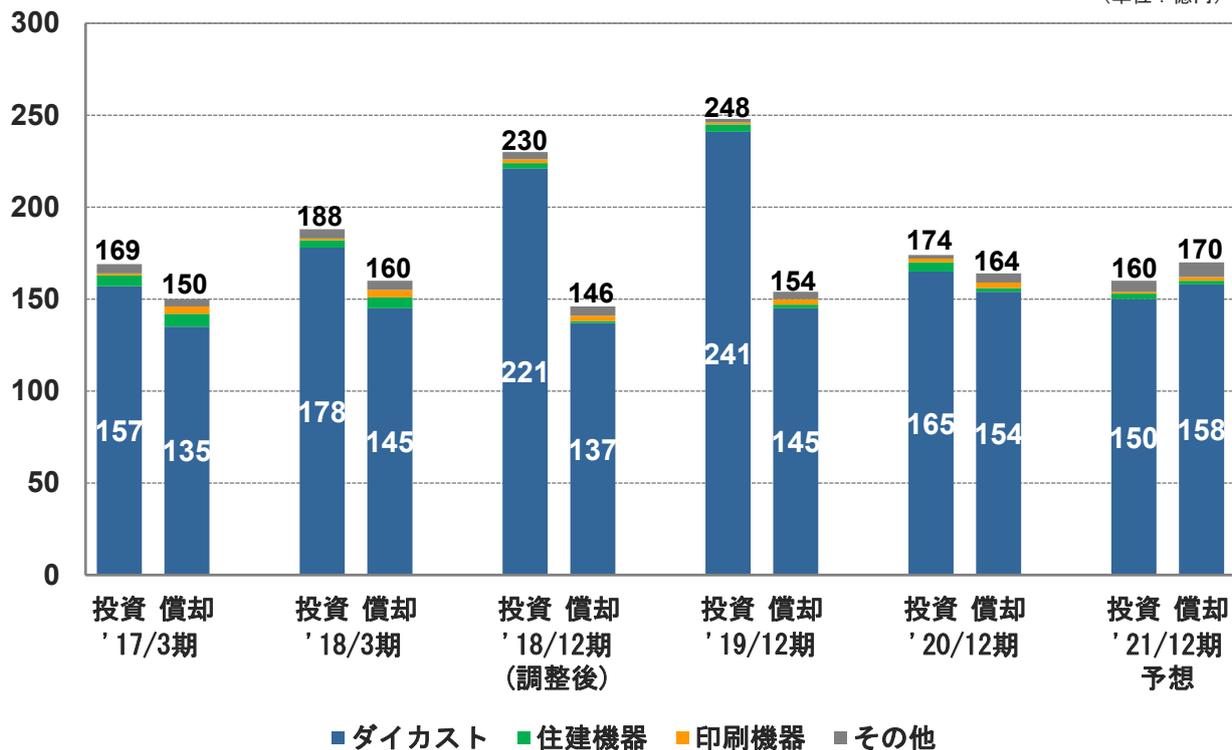
(単位：億円)

	'20/12期	'21/12期	
	実績	予想	前期差 (前期比)
売上高	1,710	2,110	400 (23.4%)
ダイカスト	1,459	1,836	377 (25.9%)
住建機器	94	94	△0 (△0.1%)
印刷機器	155	180	25 (16.1%)
営業利益	△18	23	41 (-)
ダイカスト	△16	23	39 (-)
住建機器	8	4	△4 (△50.0%)
印刷機器	△9	△4	5 (-)

13/41

設備投資・減価償却費 推移

(単位：億円)

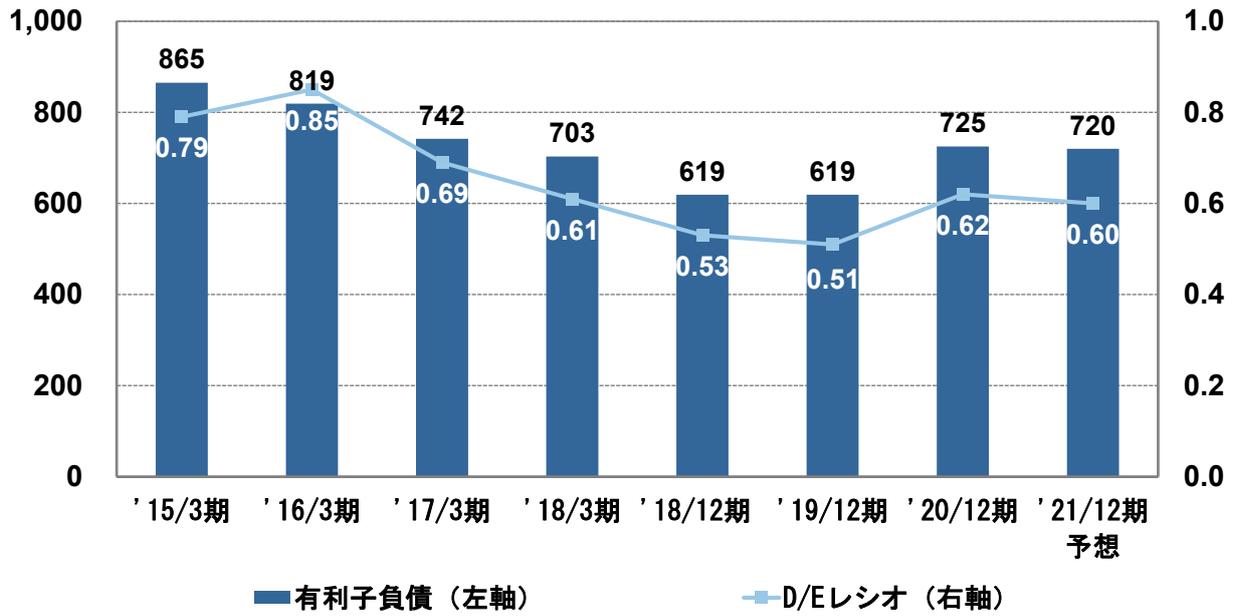


14/41

有利子負債・D/Eレシオ 推移

(単位：億円)

(単位：倍)



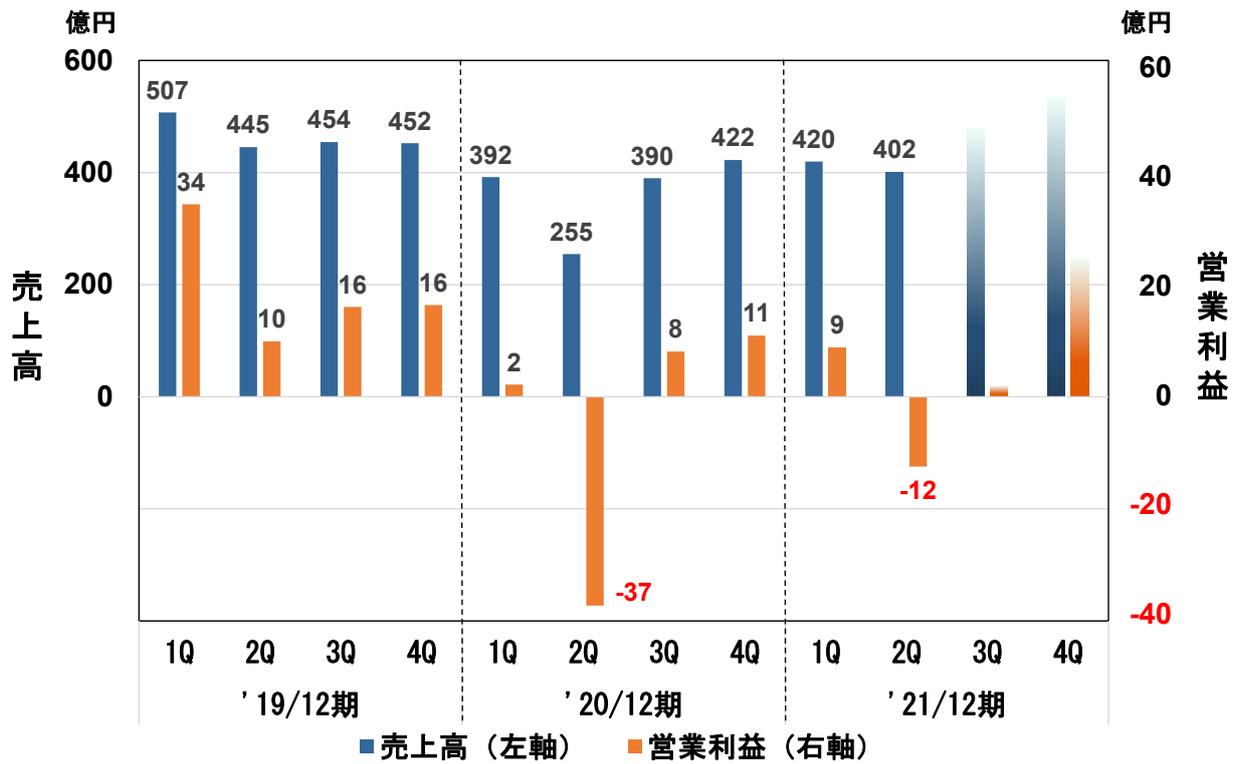
	'15/3期	'16/3期	'17/3期	'18/3期	'18/12期	'19/12期	'20/12期	'21/12期 予想
借入金依存度 (有利子負債/総資産)	32.3%	30.9%	28.2%	25.8%	23.0%	23.5%	28.0%	27.9%

15/41

3. 事業別状況

ダイカスト事業

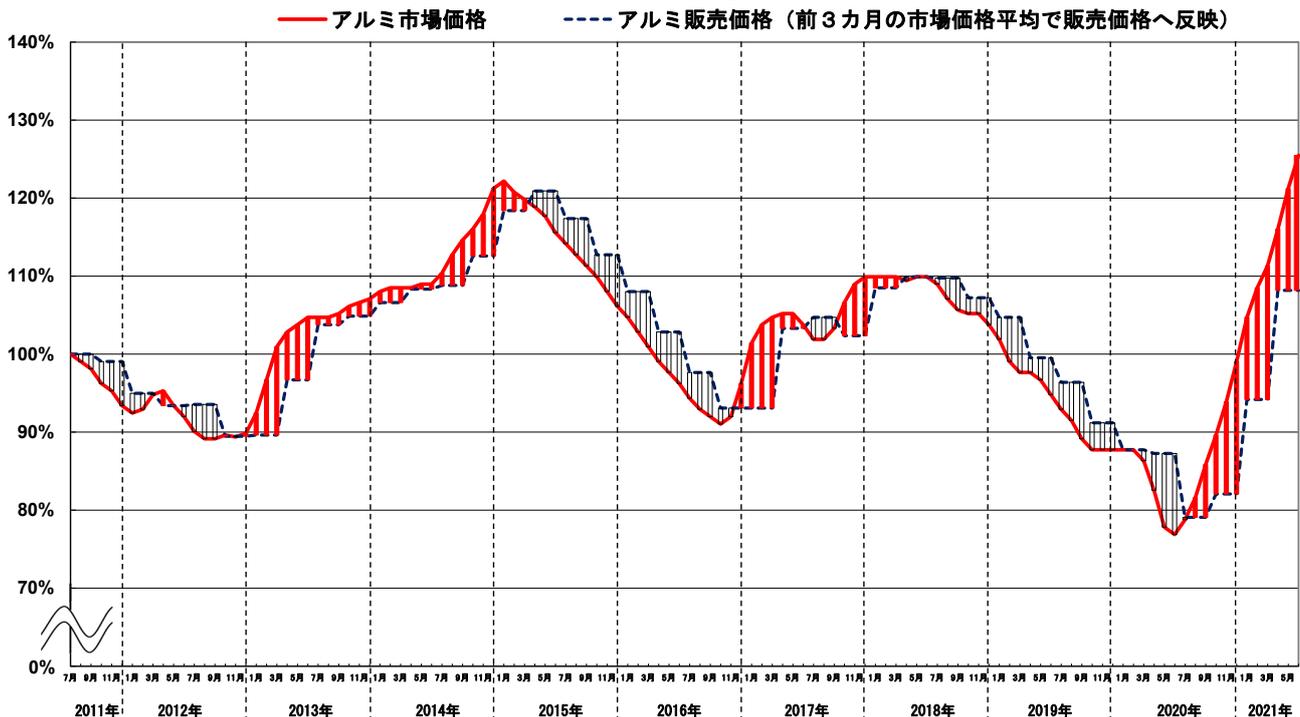
売上高、営業利益の推移



ダイカスト事業

アルミ市場価格が損益に与える影響 (イメージ)

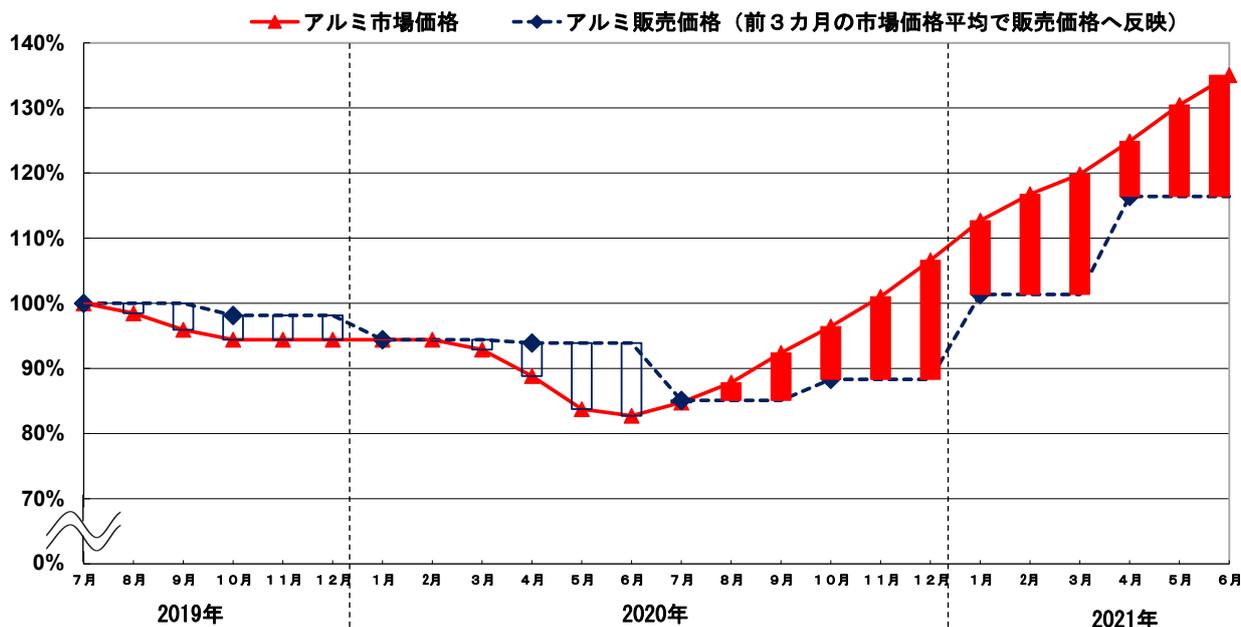
1. アルミ市場価格、アルミ販売価格の推移 (直近10年間: '11年7月~'21年6月)



※ '11年7月のアルミ市場価格を100とした場合

アルミ市場価格が損益に与える影響（イメージ）

2. アルミ市場価格、アルミ販売価格の推移（直近2年間：'19年7月～'21年6月）

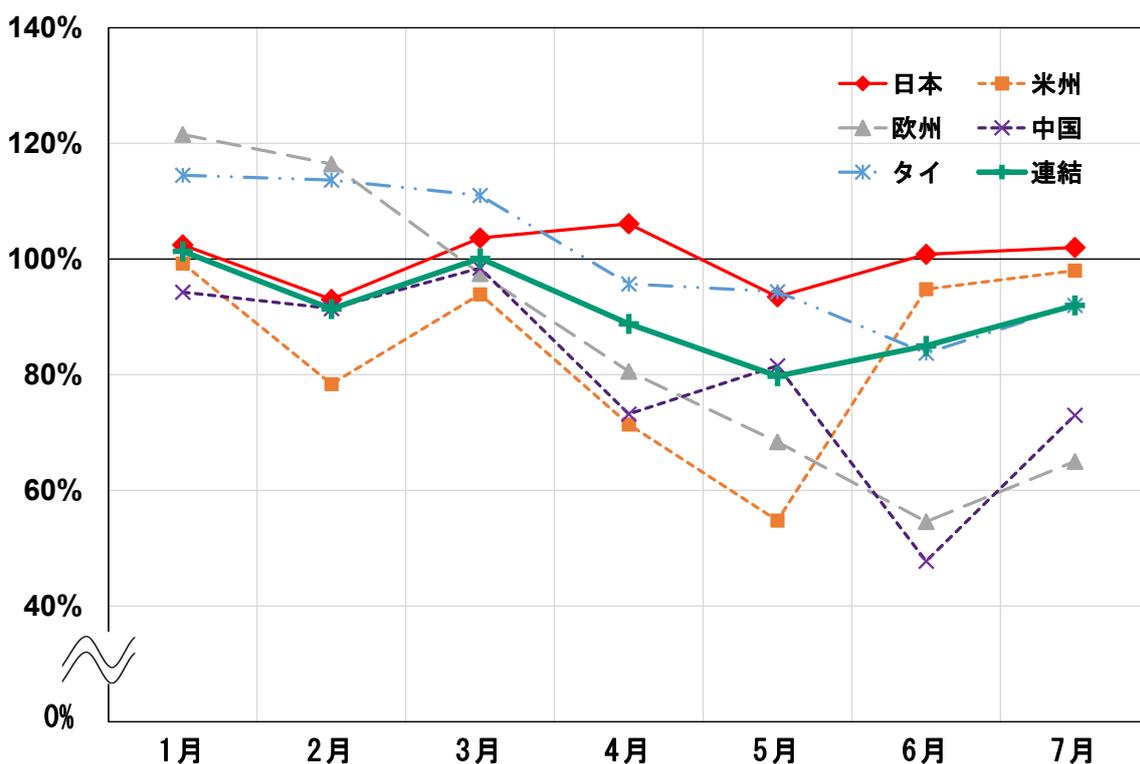


アルミ市場価格が '20年6月以降高騰しており、販売価格への反映は後追いとなるため、利益を圧迫

※ '19年7月のアルミ市場価格を100とした場合

19/41

'21年 地域別（期首計画比）生産重量の推移（%）

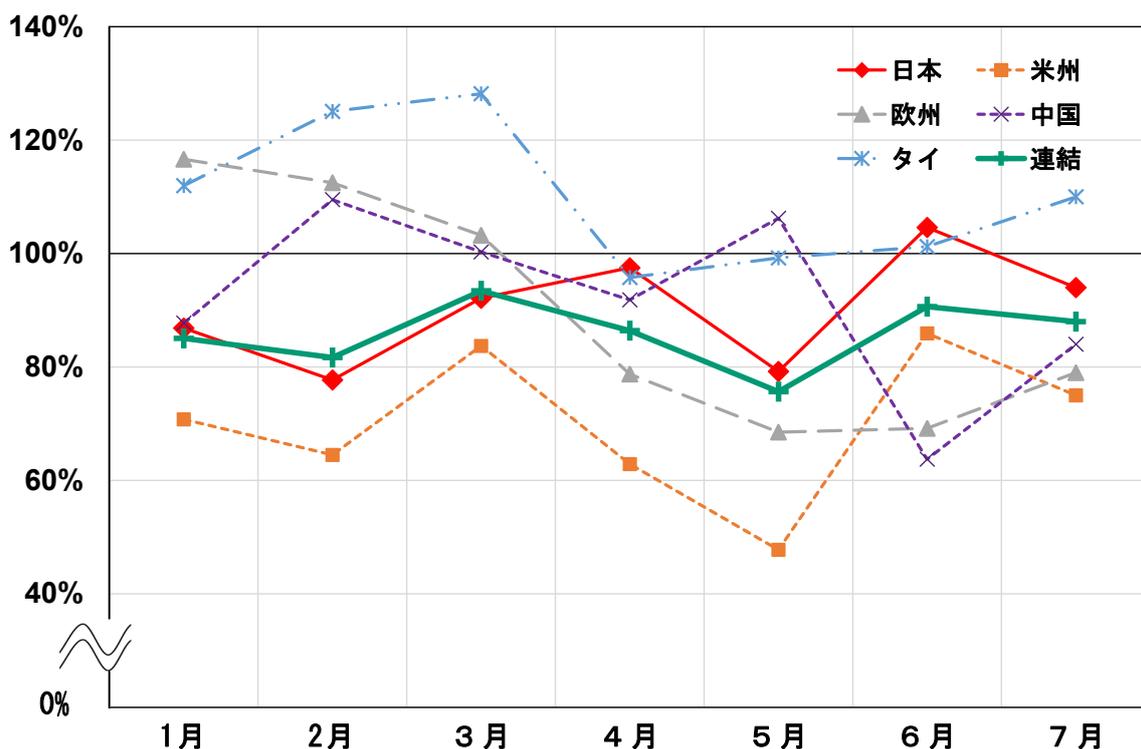


20/41

ダイカスト事業

3. 事業別状況

'21年 地域別 ('19年同月比) 生産重量の推移 (%)



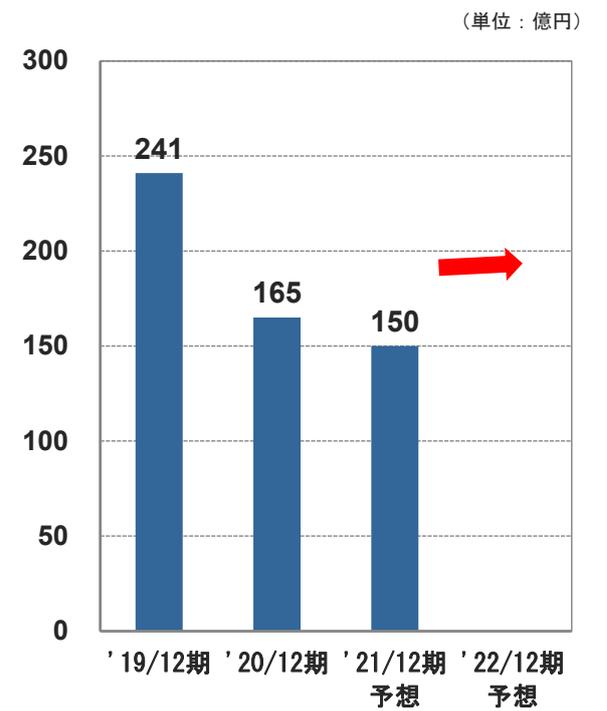
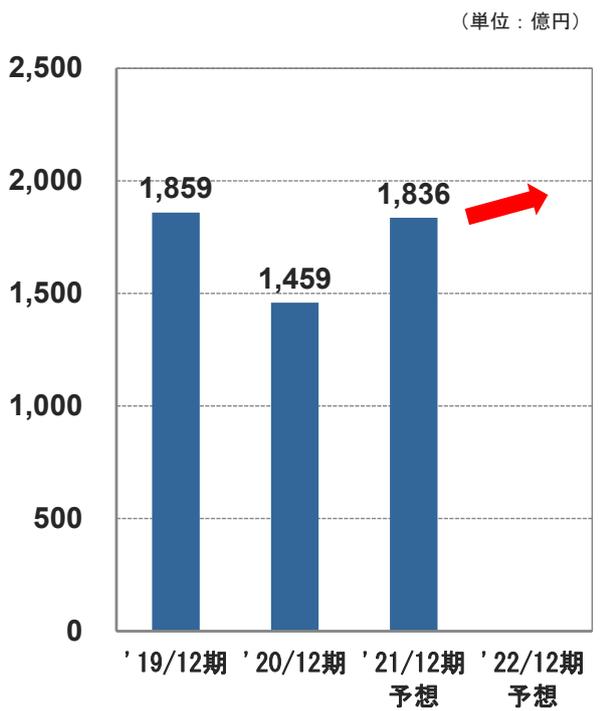
21/41

ダイカスト事業

3. 事業別状況

売上高の見通し

設備投資の見通し

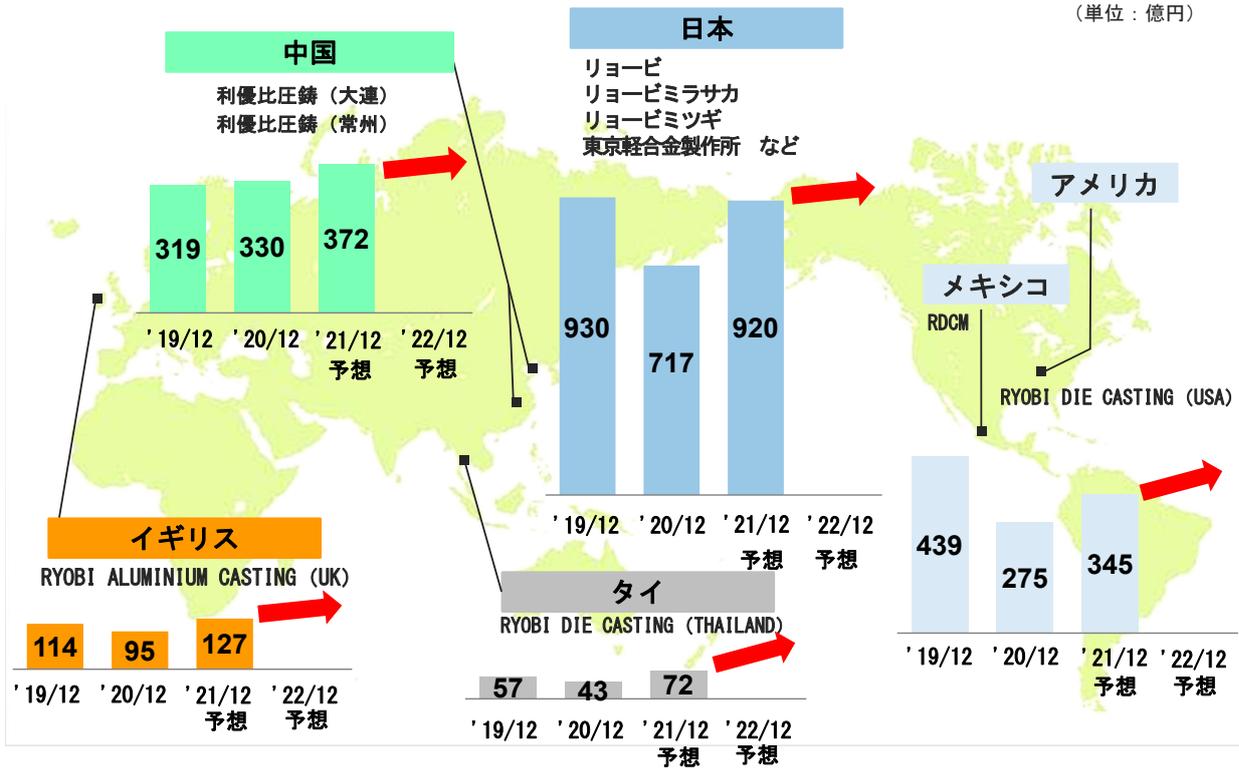


22/41

ダイカスト事業

地域別売上高

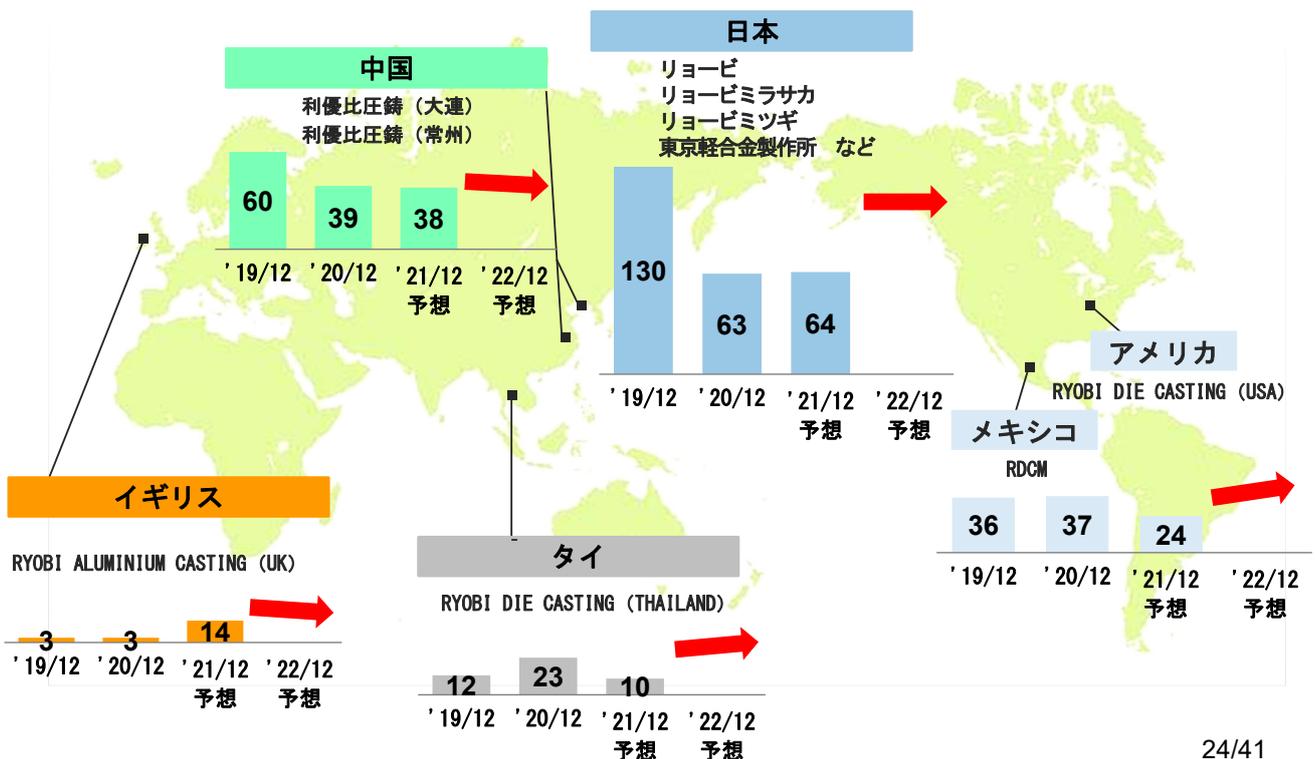
(単位：億円)



ダイカスト事業

地域別設備投資実績・予想

(単位：億円)



ダイカスト事業

今後の需要予測に関するまとめ

①自動車販売台数

- ・販売台数は、'40年頃をピークに減少する。

②パワートレインミックス

- ・電動化の主流は、当面ハイブリッド車である。
- ・環境規制、バッテリー動向で今後の予測は変化する。

③ダイカスト需要（消費地需要）

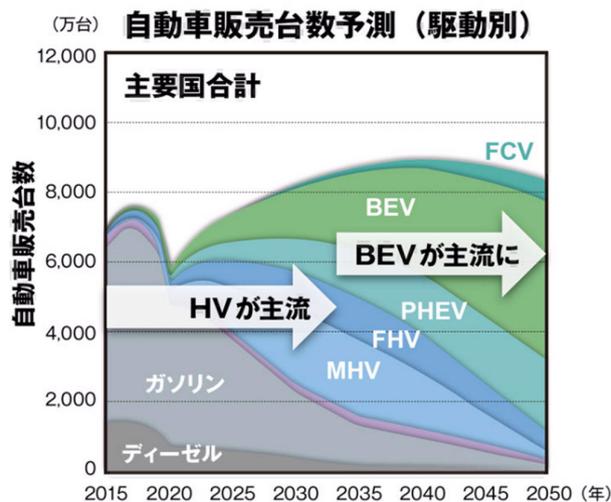
- ・ダイカスト仕事量のピークは、'35年～'40年頃と予測される。
- ・動力源は変化するが、大型ダイカスト品（重量10kg程度）の需要は、増加傾向が続く。

25/41

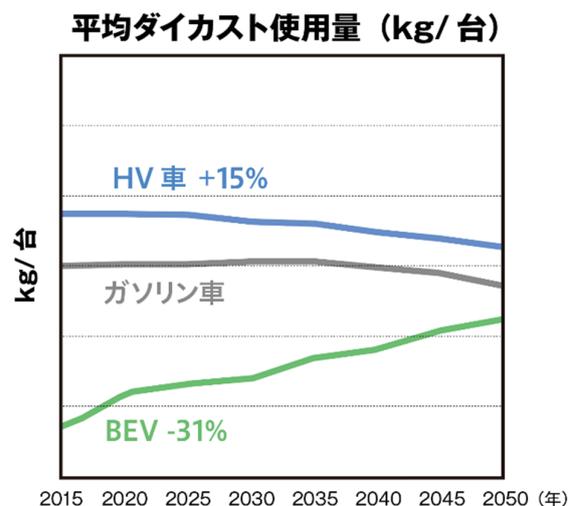
ダイカスト事業

自動車販売台数とパワートレインミックス予測

当社予測 '20/11/1



FCV：燃料電池車 BEV：電気自動車 PHEV：プラグインハイブリッド
FHV：フルハイブリッド MHV：マイルドハイブリッド

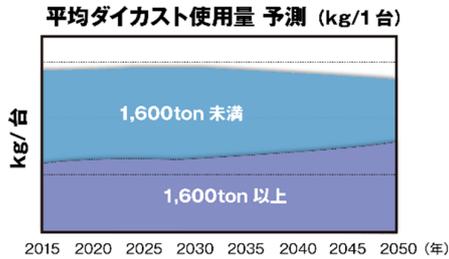
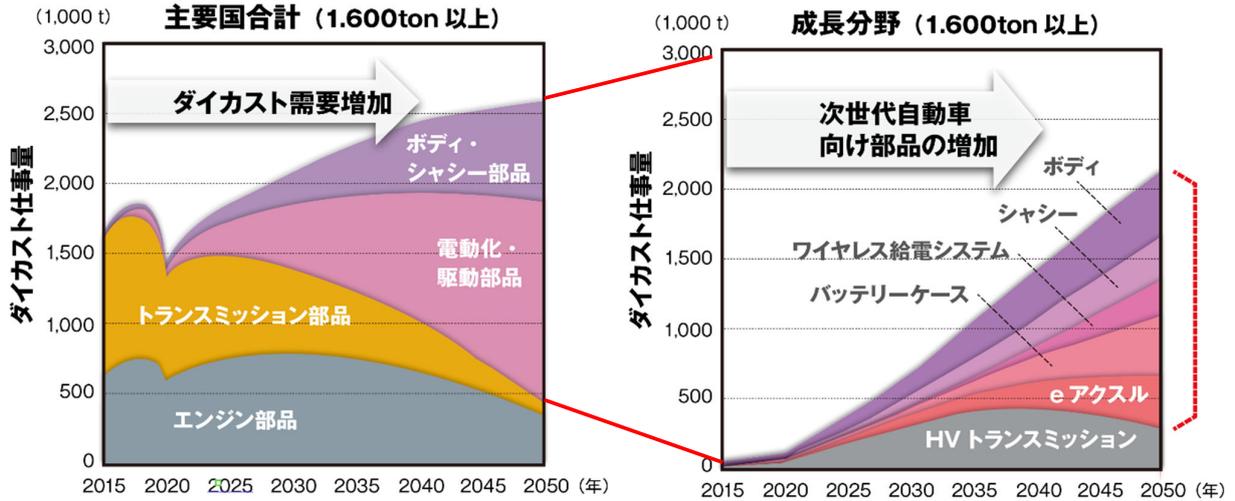


HV車のダイカスト使用量は
ガソリン車との比較で+15%
('15年～'50年の平均値)

26/41

ダイカスト事業

ダイカスト需要予測 — 一体化を活かした材料置換による増加 — 当社予測 '20/11/1



ボディ・シャシー、バッテリーケース、e アクスルなどのニーズが増加する。

- 大型ダイカスト品は、増加傾向が継続し、将来需要は安定している。
- 車一台当たりのダイカスト使用量は大きく変わらない。

次世代車：HEV, PHEV, BEV, FC 27/41

ダイカスト事業

電動化・軽量化への取組み

量産開始済：電動化部品、ボディ・シャシー部品と搭載車種紹介

生産	製品内容		客先	搭載車種	生産開始予定
日本	BEV駆動部品	モーターカバーフロント、カバーリアー	日産	リーフ	2009年10月
		モーターカバーフロント、カバーリアー	日産	キックス/ セレナe-POWER	2015年10月
		モーターケース、ハウジング、他	ホンダ	Honda-e	2020年1月
	FCV部品	カバーインバーター	トヨタ	MIRAI他	2020年9月
	HEV駆動部品	ハウジング、リテーナー	日野	デュトロHEV	2011年6月
ハウジングトランスアクスル		アイシン	ブジョー：508 3008HV、他	2019年1月	
PHEV駆動部品	ケース、ハウジングモーター	三菱	アウトランダーPHEV、エクリプスクロス	2012年11月	
	サブフレーム	ホンダ	シビック、アコード	2021年1月	
中国	HEV PHEV 駆動部品	ケース、ハウジング	アイシン	トヨタ：RAV4、ハイランダー他	2019年8月
	ボディ・シャシー部品	サブフレーム	ホンダ	シビック	2021年6月

今後の量産開始予定

生産	製品内容		生産開始予定
日本	ボディ・シャシー部品	フロントドアプレート	2021年8月
		カウルトップパネル	2021年12月
		ショックタワー	2022年2月
		ステアリング部品	2022年9月
	バッテリー部品	バインディングプレート、スタック、UPR、LWR	2021年8月
HEV バッテリーケース ロア		2022年1月	
HEV駆動部品	PHEV バッテリーケース	2022年2月	
	ディファレンシャルリテーナー	2021年8月	
米国	BEV駆動部品	モーターハウジング	2023年3月
	モーターハウジング	2023年6月	
英国	PHEV駆動部品	PHV DCTミッションケース	2022年12月
中国	ボディ・シャシー部品	カウルトップパネル	2022年1月
	BEV駆動部品	ケース、ハウジング	2022年9月
	バッテリー部品	バッテリーケース	2023年4月

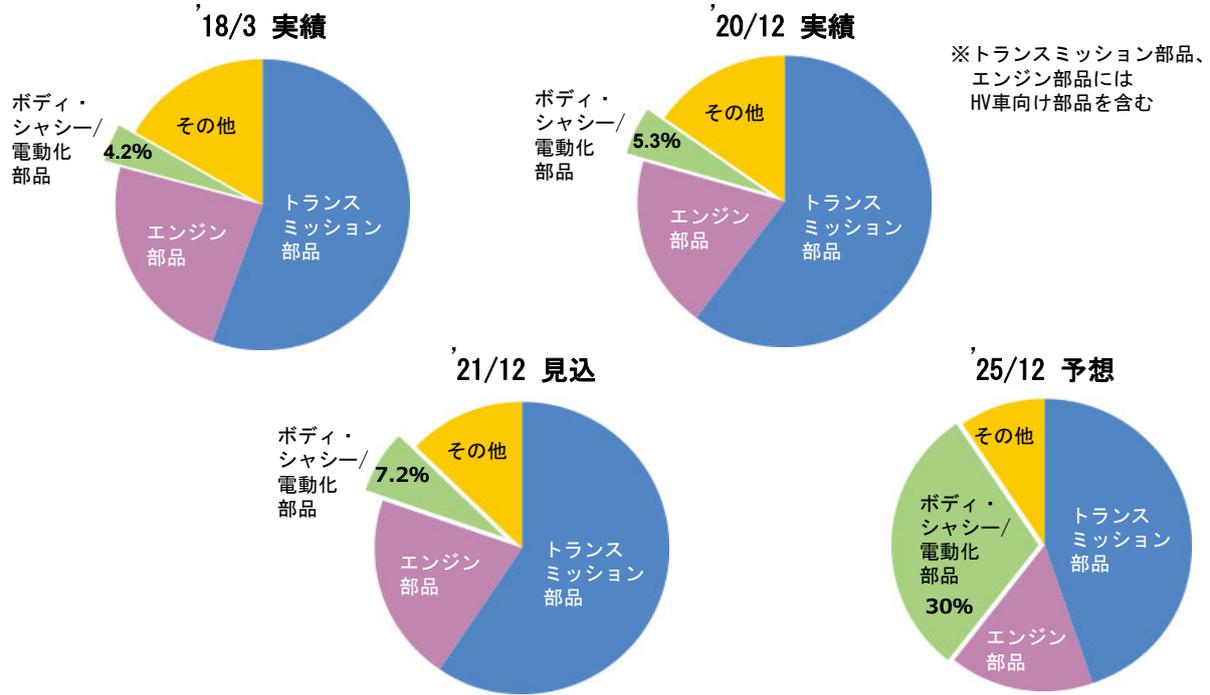


当社サブフレームが搭載されているホンダ様新型シビック

ダイカスト事業

電動化・軽量化への取組み

電動化、ボディ・シャシー部品の売上高構成比推移



住建機器事業

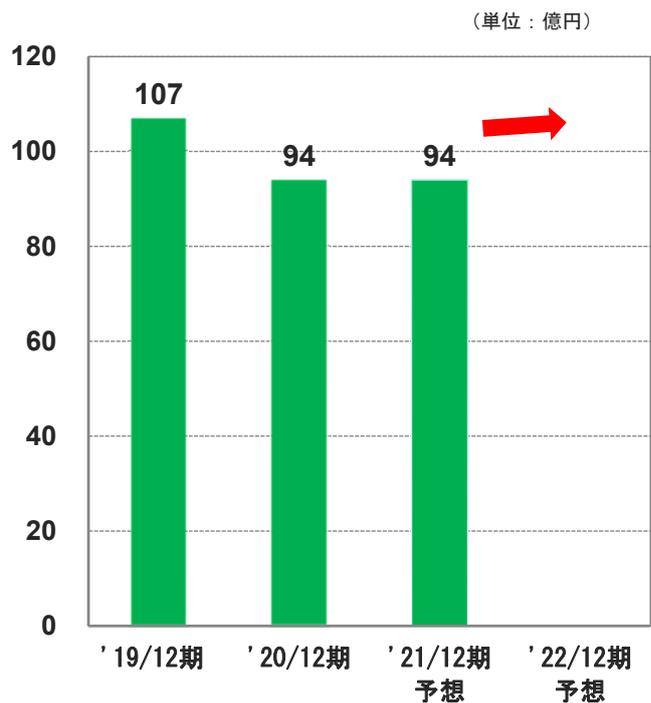
事業環境

- ビル（非居住）着工床面積は平均2%減少、新設住宅着工戸数は横ばい
- ドアクローザ市場、引戸クローザ市場は緩やかに縮小を続ける
- 非接触関連商品の市場拡大

主要な取組み

- 市場シェアの拡大（当社品の指名獲得、物件採用率・受注平米数の拡大）
- 海外市場での売上高拡大化
- 競争力のある商品開発
- 電動開閉装置の販売拡大
- 国内自動化設備（加工・組立・梱包工程）の生産性向上

売上高の見通し



住建機器事業

国内工場（御調第一物流）でのドアクローザ自動化生産設備の稼働開始

自動組立・検査工程



加工後のドアクローザハウジング



完成したドアクローザ

投資内容	自動加工設備、自動組立・検査設備、自動梱包設備 最大生産能力50,000台/月（3交代運用時）	
設備投資総額	9億円（3工程合計）	
量産開始年月	自動加工工程	2019年4月
	自動組立・検査工程	2021年7月
	自動梱包工程	2021年8月
設置目的	<ul style="list-style-type: none"> ・中国工場での労務費上昇と為替変動（元高）リスクへの対応 ・国内生産体制の充実による当社のBCP対応力の向上 	
製品	一般戸建住宅の玄関ドア用ドアクローザ	

31/41

印刷機器事業

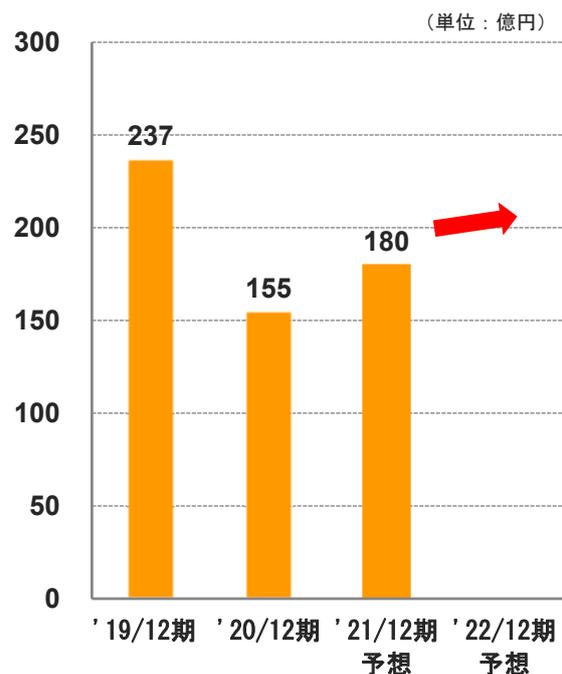
事業環境

- オフセット印刷機市場はCOVID-19の影響から地域毎にばらつきはあるが、回復傾向
- 特に中国、韓国はCOVID-19以前よりも市場が好調
- 国内は人員不足、新興国は人件費高騰により自動化・省力化ニーズが高い

主要な取組み

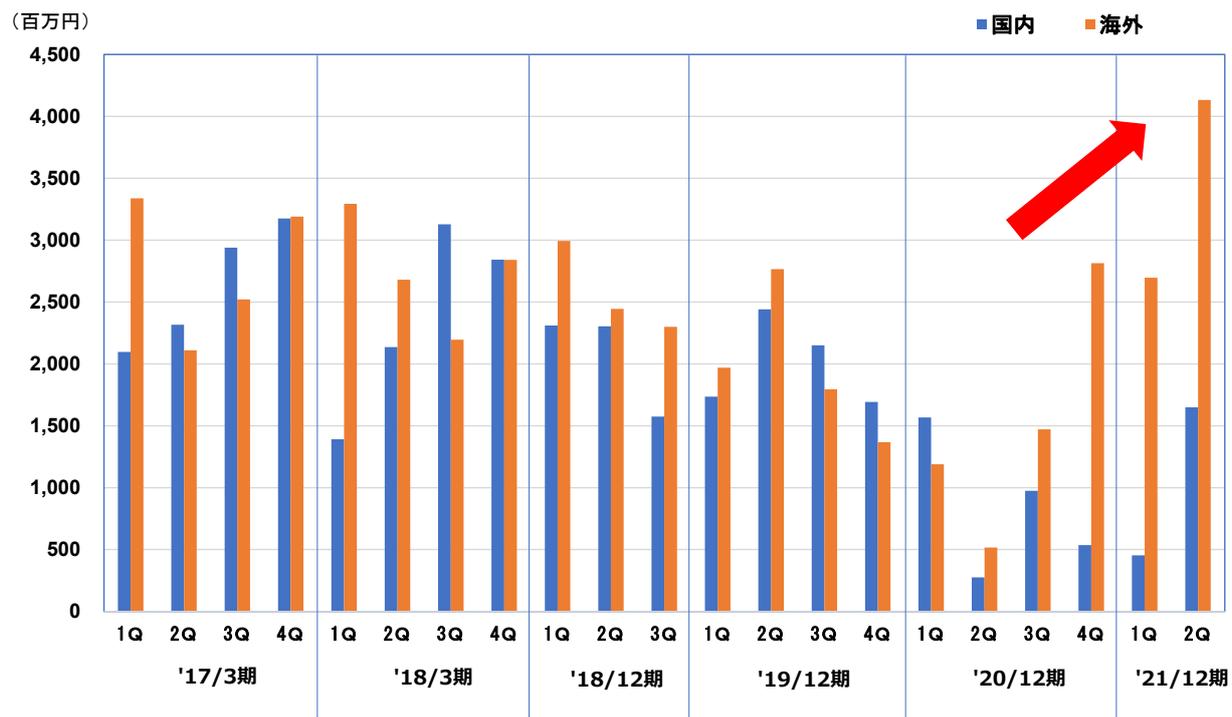
- 主力機種のコストダウン
- 新機種の機能充実
- IoT、RMS (Remote Maintenance System) ウェアラブルグラスを利用したサービス体制の促進
- 戦略機種の販売強化（地域別）
- 搬送装置の販売強化
- ロボット・AGVの販売促進

売上高の見通し



32/41

機械受注金額実績推移



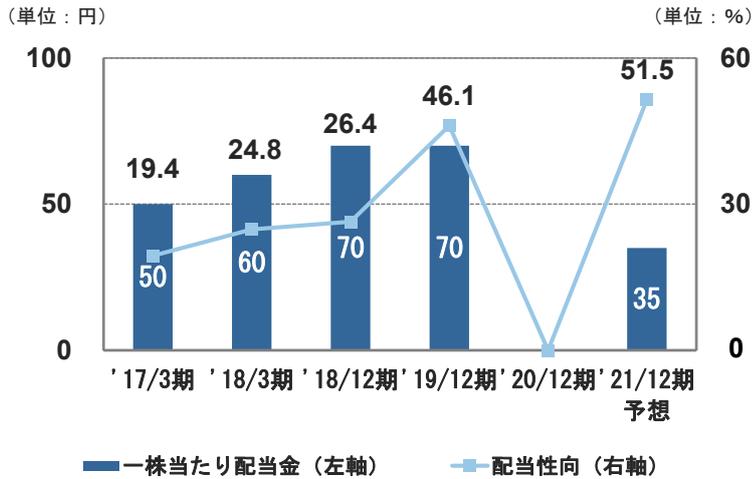
海外市場は'20/12期第3Qより回復

4. 株主還元



株主還元

一株当たり配当金・配当性向の推移



配当政策

- 中長期的に連結業績の向上を図り、成長投資と株主の皆様への安定した利益還元の維持を基本とする
- 安定的な配当継続に加え、配当性向30%程度を目安とし諸条件を勘案の上決定する

配当の状況

- '21年12月期は黒字に回復する見込みのため、復配を行う

	'17/3期	'18/3期	'18/12期	'19/12期	'20/12期	'21/12期 予想	'22/12期 予想
一株当たり配当金	50円	60円	70円	70円	0円	35円	配当性向30%程度
配当性向	19.4%	24.8%	26.4%	46.1%	—	51.5%	

5. SDGsへの取組み

SDGsへの取り組み

重要テーマ	対応する 主なSDGs目標	具体的な取り組み
地球環境 への配慮	   	<ul style="list-style-type: none"> ▶ アルミダイキャスト製品の拡販 ▶ CO2削減 ▶ 水資源の効率利用 ▶ 廃棄物削減 ▶ 有害物質削減への取り組み ▶ 省エネ・軽量化ニーズの対応 ▶ リサイクルの推進 
技術革新		<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新たな技術・素材による新商品開発 ▶ 自動化・省力化ニーズに対応した新商品・サービス  
働き方改革 の推進	  	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ダイバーシティの推進 ▶ 多様な働き方の推進 ▶ 健康経営の推進 
その他社会的 要請への対応	     	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 雇用の創出 ▶ 技術の継承 ▶ 法令遵守 ▶ 企業理念の徹底 

37/41

SDGsへの取り組み

静岡県企業と中高生を結ぶ「シヅクリプロジェクト」に参加



- ・シヅクリプロジェクトとは：
一般社団法人シヅクリ主催で「静岡県の豊かな未来の創造」を目的に、静岡県内の企業と中高生が協働して地方創生を目指すプログラム
- ・期間：'20年9月～'21年1月
- ・参加企業：当社を含め8社
- ・参加者：中学校5校、高等学校2校から約560人の生徒（全140チーム）
- ・当社は中学校3校全19チームからアイデアの提案を受け、沼津市立大岡中学校のチームを優秀賞に選出。



中学校生徒によるプレゼンテーションの様子



授賞式の様子

38/41

SDGsへの取組み(2)

「SDGsグリーンローン」での資金調達を実施

借入金額：130億円 借入期間：7年間（2020年1月31日～2027年1月29日）



- 調達にあたって、株式会社格付投資情報センター（R&I）より「R&Iグリーンボンドアセスメント」の最上位評価である「GA1」を取得。
- アルミダイカスト製品の製造において環境性能の高い設備を導入することや、アルミダイカスト製品が自動車の軽量化・燃費向上に貢献していることなどが評価されました。
- 経団連「チャレンジ・ゼロ」*における株式会社三井住友フィナンシャルグループのイノベーション事例として当社事例を紹介。

*「チャレンジ・ゼロ」とは、経団連が日本政府と連携し、気候変動対策の国際枠組み「パリ協定」が長期的なゴールと位置づける「脱炭素社会」の実現に向け、企業・団体がチャレンジするイノベーションのアクションを後押ししていくイニシアティブ



株式会社三井住友フィナンシャルグループ 「SDGsグリーンローン」を通じた企業の環境課題への挑戦支援

イノベーション事例



取組事例2：製造プロセスにおける環境負荷低減への挑戦「リョービ株式会社」

広島県府中市に本社を置くアルミダイカスト大手のリョービ株式会社は、アルミダイカスト製品製造に用いる鋳造機・製品加工設備等において、環境性能の高い設備導入に係る資金を「SDGsグリーンローン」にて調達した。製造プロセスにおける環境負荷低減に着目したグリーンローンは国内初の事例となる。

省エネ効果が認められる新たな生産設備の導入により、製造プロセスでCO2削減効果が見込まれることに加え、アルミダイカスト製品は運輸部門の温室効果ガス削減において重要な要素の一つである輸送機器の軽量化に寄与するプロジェクトである。

当社と当行とで設定した以下のレポーティング項目を通じて、製造プロセスにおける環境負荷低減に向けた挑戦の進捗確認を行う。

<https://www.challenge-zero.jp/jp/casestudy/271>
チャレンジゼロHPより抜粋

39/41

将来予測に関する注意事項

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは大きく異なる可能性があります。

RYOBI

できたらいいなの、その先へ。